

6. 盛んな産業といろいろな働き場があり、 成長するまちに

企業の新商品開発を支援 ～広島工業大学研究室訪問事業～
あなたのチャレンジをサポートします！ ～廿日市ビジネスチャレンジコンテスト～

企業の新商品開発を支援 ～ 広島工業大学研究室訪問事業 ～

■事業概要

info

市内の企業と市がともに、広島工業大学の研究室を訪問し、研究内容を知ること、広島工業大学の研究内容が参加企業の新商品開発や生産工程の見直しなどにつながるものがないかどうか可能性を探るとともに、参加された企業などの連携、ネットワークの構築、人材育成などの支援を目的としています。



■事業の背景やきっかけ

introduction

市は、地域経済への効果が期待される産業振興施策を廿日市市産業振興協議会※と連携して実施しています。この協議会が主体となって実施するプロジェクトは三つありますが、その一つが地域資源を活かした新商品開発への取組です。新商品開発を企業が進めていくための支援として、平成23年度から「広島工業大学研究室訪問事業」を定期的に行い、毎回、企業十数社、金融機関、宮島工業高等学校、各経済団体などが参加しています。



大坂 英雄さん

広島工業大学

大学と市が常に会っている関係がとてもよいと思います。この事業を通じて新たな企業を知ることができ、企業からも大学に相談が行われるようになりました。

今後は企業同士の見学会が行われるなど、つながりが生まれればよいと感じています。市の関与が企業に安心感を与えています。時間はかかると思いますが、企業と大学・教授の信頼関係が築かれ、商品開発などの成果に繋がってほしいと思います。



桜井 元康さん



平岡 直樹さん

環境産業部 商工労政課

市は企業と大学との連携をお手伝いしたいです。企業から何か相談があれば、すぐに大学を紹介できるようになりましたが、これは市と大学との関係ができているからです。

新たな産業を創出し、市内に産業連関が生まれればと思います。企業同士の見学は、ニーズもありぜひ企画したいです。これは新たな企業の掘り起しにつながると思います。

大学との連携はありがたくその一言に尽きます。

■インタビューを終えて・・・

review

大学の持つ知識や技能等を積極的に生かして市の産業振興を進める上で、市が関与することは、企業にとっても安心感を与えているのだと感じました。企業同士が出会い、連携できるきっかけづくりの場を整備していくことが市の役割だと思いました。

2012. 9. 10 取材

※産業振興協議会：大学、商工会議所、商工会、金融機関、国、県、市で構成される横断的に連携した組織で、廿日市市の産業振興施策について、議論しています。

あなたのチャレンジをサポートします！

～廿日市ビジネスチャレンジコンテスト～

■事業概要

info

市内で新しくビジネスを始めたい人を掘り起こすため、「廿日市ビジネスチャレンジコンテスト」を実施しています。

若い経営者や働く人の活躍が、地域の活性化につながるように、市や廿日市商工会議所、同青年部が連携し、ビジネスチャレンジを形にしていく計画づくりや、事業のPR活動など、廿日市市で創業を目指す人を応援しており、過去の実績者によるビジネスも形になり始めています。



■事業の背景やきっかけ

introduction

人口減少による介護・医療等の地域の問題や、若者の流出など懸念される中、廿日市商工会議所青年部は、若い人が地域の中で輝くことで地域が元気になると考え、「若者がチャレンジしやすい環境」「社会問題を解決していける環境」をつくりたいと提案し、平成30年度にスタート。毎年レベルアップしながら、廿日市市で創業したい人を応援する仕組みづくりに取り組んでいます。



経営サポート課
見玉 貴広さん

廿日市商工会議所

事業を始めて3年目になりますが、コンテスト参加者が多くのメリットを受けられるように試行錯誤を繰り返しています。今後は、顧客の新規開拓や広報・宣伝などをサポートするアフターフォローや、他のビジネスと連携できるようなバックアップに力を入れたものにしたいと考えています。これまで、コンテストから創業された店舗の周りでは、地域の活性化が見られていると思います。コンテストへの参加をきっかけに創業を手助けすることが、事業者のみならず、廿日市全体の活性化につながることを考えています。



青年部
川本 真督さん

環境産業部しごと共創センター

宮島を含め海から山まである廿日市は、ビジネスを立ち上げるのにも良い環境です。「働く場所がないから、都市部から出身地である廿日市に戻ってこない」「住所は廿日市だけど仕事は広島で探す」ではなく、むしろどんどん外からも「廿日市で何かやりたい！」「働く場所がないなら自分で作ればいい！」ということに気づいていただける事業だと思います。ビジネスのアイデアを持っている人をサポートするために、しごと共創センターでは個別相談も行っていますので、創業を目指す人にはコンテストによる創業支援を合わせた枠組みとしてうまく使っていきたいと思っています。



阿須賀 芳恵さん



香川 佐織さん

■インタビューを終えて・・・

review

廿日市と一緒に盛り上げる仲間を増やしていきたいという商工会議所青年部の思いがコンテストという形になり、商工会議所と廿日市市が協働して创业者のサポートをしている様子を知ることができました。このコンテストをきっかけに事業者同士の連携が深まり、廿日市市の事業活動がますます活発になっていくと思います。

2020. 11. 24 取材